

外国語を学ぶことで何が変わるのか



講師

慶應義塾大学教授
小倉孝誠先生

日時

2024 年 12 月 11 日 (水)
午後 4:45～6:00 (開場 4:40)

会場

大東文化大学 板橋校舎
3 号館 30111 教室

大部分の学生は、大学に入ってから英語以外の外国語を学びます。学習する言語が何であれ、新たな外国語との出会いは新たな世界との出会いにつながります。人間が自己を知り、成長するためには他者と遭遇し、未知のものと対峙することが必要ですが、そうした他者や未知の典型が外国語でしょう。

フランス語と文学の教員である講演者が、みずからのフランス語との出会い、若い頃の留学体験をまじえつつ、外国語と文学をつうじて世界と人間をどのように捉え直せるかを考えます。

小倉孝誠：1956 年生まれ、青森県出身。パリ・ソルボンヌ大学文学博士。2011 年日本翻訳出版文化賞、2018 年福澤賞。専攻はフランスの文学と文化史。主な近著に、『〈女らしさ〉の文化史 性・モード・風俗』（増補改訂版 中央公論新社 2024）、『ボヘミアンの文化史 パリに生きた作家と芸術家たち』（平凡社 2024）がある。